

今できること、これからも見据えて

中村 良子 さん（北海道介護福祉学校 2 年）

小田 芳子 さん（同 2 年）

公共職業訓練生として在籍する中村さんと小田さん。元職場の同僚でもあった二人は、コロナ禍をきっかけに以前から夢見ていた「人の役に立つ仕事を目指したい」と決心し、昨年入学しました。

小田さんは「資格勉強との両立は大変です」と話しながらも「学生・先生たちに支えられながらやっていけています。感謝でいっぱいです」と話します。

現在二人は町内をフィールドに課題解決を福祉の視点で行う「地域活動研究」のヘルスケアグループとして活動中。高齢者の困りごとを解決する体操やレシピなどを考案しており、11月には地域の会合でレクレーションを指導する機会もありました。

（未完成）



（左）少し緊張した様子で始まった初日の活動（右）最終日の活動後には全員と打ち解け、笑顔で記念撮影を

今できること、これからも見据えて

飛渡 翔 さん（栗山高校 2 年）・**丸岩 希莉斗** さん（同 1 年）



バスケットボール（以下、バスケ）部の主将飛渡さんと副主将丸岩さん。部員はわずか5人で大会出場はギリギリの人数です。

唯一の2年生である飛渡さんは、高校からバスケを始め、助っ人の力も借りて活動中。飛渡さんは「次の大会は野球部の力を借りて出場します。目標の初勝利、また、新入生を迎える来年も見据えて頑張りたい」と意気込んでいます。

唯一の2年生である飛渡さんは、高校からバスケを始め、助っ人の力も借りて活動中。飛渡さんは「次の大会は野球部の力を借りて出場します。目標の初勝利、また、新入生を迎える来年も見据えて頑張りたい」と意気込んでいます。